



東串良町
HIGASHIKUSHIRA

ほ ぞん ばん
保存版

2024年3月発行

※目の届く場所に保管してください

いざという時に備え、日頃から避難場所、避難経路、家族の連絡先、避難時の心がけなどを、この防災マップをもとに話し合っ、防災・減災に役立ててください。

防災 マップ

- 防災マップの使い方 1
- 災害に備えて 2
- わが家の防災対策 3・4
- 非常持ち出し品の準備 & チェック 5
- マイタイムライン 6
- 避難情報 7・8
- 地域ぐるみで取り組む防災・減災 9
- 災害の種類
 - ＜風水害・台風＞ 10
 - ＜洪水・浸水害＞ 11
 - ＜土砂災害＞ 12
 - ＜地震・津波＞ 13~15
 - ＜高潮＞ 15
 - ＜火災＞ 16
 - ＜桜島大噴火＞ 17
 - ＜武力攻撃災害＞ 17
- 避難所一覧 18
- 防災マップ索引図 19
- 防災マップ 20~28
- 避難所の利用 29
- 防災マップ(拡大版)等ホルダー 30
- わが家の防災メモ 裏表紙

防災マップの使い方

この防災マップは、災害の発生により被害が想定される内容、場所を事前に知っていただき、災害に備えていただくことを目的としています。

フェーズ1 想定を知る

(P19～P28、防災マップ(拡大版))

防災マップでは、災害の種類ごとに災害リスクの度合いや浸水の深さなどを色分けで表し、避難所や公共施設などを示しています。

自宅や勤務先など、よく行く場所がどの程度被害を受けるのかを確認しましょう。

防災マップまたは防災マップ拡大版で、自宅の位置を確認して、印をつけましょう。



フェーズ2 避難を考える

(P19～P28、防災マップ(拡大版))

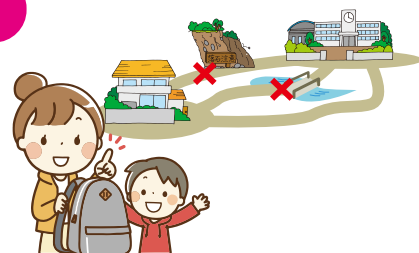
あらかじめ避難先と避難経路を確認しておきましょう。

避難経路は、ブロック塀の倒壊や倒木などの恐れがあるルートはなるべく避けるようにし、側溝の位置がわかるようガードレールがある道路や、夜間でも安全に通行できるよう目印のある道路を選びましょう。

また、家族や地域で話し合いながら、実際に避難経路を歩いてみて、危険な場所がある場合には、避難経路を見直してみましょう。

防災マップまたは防災マップ拡大版に、避難先と避難経路の位置を確認して、印をつけましょう。

※避難先は安全な場所であれば、自宅や親戚宅、友人宅でもかまいません。



フェーズ3 災害に備える

(P2～P6、P9、マイタイムライン、裏表紙)

「わが家の防災対策」を参考に、家の中や周囲の安全対策を行うとともに、非常持ち出し品を準備しましょう。

また、マイタイムラインや、わが家の防災メモに家族で決めた集合場所・連絡方法などを記入し、万が一に備えましょう。



フェーズ4 早めの避難

(P7・P8、P10～P18)

災害の発生や、おそれがある場合には、正確な情報を把握して、早めの判断・行動を心がけることが大切です。

防災行政無線やテレビ、ラジオ、インターネットなどで、正確な気象情報や避難情報を入手しましょう。

また、災害の特性を知り、安全な避難行動につなげましょう。



フェーズ5 避難所での生活

(P29)

避難所では、さまざまな人が一緒に生活します。

災害が起こって大変なときこそ、思いやりや配慮を忘れずに、助け合いながら生活しましょう。



災害に備えて

家族みんなで防災会議



災害は、いつ、どこで起こるか予測することは困難です。

災害が起こった時、被害を最小限に食い止めるためには、日頃から必要な準備をしておくとともに、災害が発生したら落ち着いて、避難・安否確認などの行動をとりましょう。

この防災マップを活用して、万が一に備え、家族の行動、避難所や避難方法、連絡方法などを日ごろから家族でよく話し合い、マイタイムラインや、わが家の防災メモに記録しましょう。

また、災害に備えて家の中と周囲を確認し、危険な場所は早めに改善しましょう。

家族一人ひとりの役割分担

日常における防災の役割と災害が起きたときの役割の両方を決めましょう。

家屋の危険箇所点検

家の中や周囲を点検し、危険箇所を確認したら改善しましょう。

また、家の中に安全な空間を確保しましょう。

非常持ち出し品の点検と取り換え

必要な非常持ち出し品が揃っているか点検するとともに、新しいものとの取り換えも忘れずに行いましょう。

地域の防災活動

地域の防災活動には、積極的に参加するようにしましょう。

災害時の避難先や連絡方法の確認

家族が離ればなれになったときの避難先や連絡方法を確認しましょう。

できれば休日などを利用して、みんなで避難経路の下見をするとともに、避難先での具体的な落ち合い場所(〇〇学校〇〇付近など)を決めましょう。

避難行動判定フロー

「避難」とは、「難」を「避」けること。**安全な場所にいる人まで、避難場所に行く必要はありません。**

また、避難先は町が開設した避難場所だけではありません。**安全な親戚・知人宅に避難**することも考えてみましょう。避難行動判定フローを参考にしてください。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取組みましょう

防災マップは、自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※防災マップは、浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、東串良町からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

- 浸水の危険があっても、
① 洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
② 浸水する深さよりも高いところにいる
③ 浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分である場合は、自宅にとどまり安全を確保することも可能です。
- 土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション棟の上層階に住んでいる場合は、自宅にとどまり安全を確保することも可能です。

ご自身または一緒に避難する人は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が発令されたら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。(日頃から相談しておきましょう。)

いいえ

警戒レベル3が発令されたら、東串良町が開設している**指定緊急避難場所、指定避難所など安全な場所に避難**しましょう。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4が発令されたら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。(日頃から相談しておきましょう。)

いいえ

警戒レベル4が発令されたら、東串良町が開設している**指定緊急避難場所、指定避難所など安全な場所に避難**しましょう。

わが家の防災対策

台風や大雨、地震などによる被害を最小限にとどめるため、日頃から家屋やその周辺の点検・修理・補強を行い、十分な災害対策を講じておきましょう。

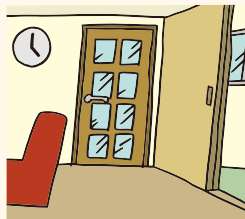
事前に準備できているか、チェック☑しましょう。

家の中の安全対策

☐ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置きましょう。

無理な場合は、少しでも安全なスペースができるように配置換えしましょう。



☐ 安全に避難できるように、出入口や通路には物を置かない

家具など倒れやすいものを置くと、いざという時に出入口がふさがれてしまいます。

玄関や出入口までの通路などには、物を置かないようにしましょう。

☐ 家具の転倒や落下を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすいため、家具の下に転倒防止プレートを差し込んで、壁や柱に寄り掛かるように固定しましょう。

また、金具や転倒防止器具を使って壁や天井などに固定しましょう。

☐ 寝室、子供やお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険です。

逃げ遅れる可能性がありますので、家具は置かないようにしましょう。



家の周囲の安全対策

☐ 屋根・雨どい

不安定なアンテナは固定しましょう。瓦のひび割れ・はがれ等があるときは補修しましょう。雨どいにゴミや木の葉などが溜まっているときは掃除をしましょう。

☐ 窓

窓枠や雨戸にガタつきがあるときは補修しましょう。

☐ ベランダ

植木鉢や物干し竿など、落下や飛散する危険があるときは整理整頓しましょう。

☐ 外壁

壁に亀裂などがあるときは補修しましょう。



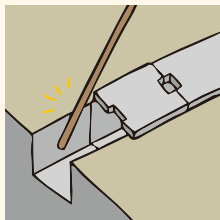
☐ ブロック塀

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強しましょう。

ひび割れや鉄筋のさびがある場合は補修しましょう。

☐ 排水溝

側溝や雨水ますにゴミや土砂がたまっているときは掃除をしましょう。



☐ その他

- ☐ プロパンガスなどは固定されていますか
- ☐ ゴミ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定または移動できますか
- ☐ 自動車などの燃料を満タンにしていますか
- ☐ 商店など看板のぐらつきはありませんか



阪神・淡路大震災時に、建物の中でケガをした人の約半数(46%)は家具の転倒、落下が原因だったという調査結果があります。

これにガラスの飛散によってケガを負った人(29%)を加えると実に4分の3の人たちが家具やガラスでケガをしたことになります。

つまり、家具をしっかりと留めて、ガラスの飛散防止対策を施せば、震災時に多くの人はケガから身を守ることができます。

家具の大きさや種類、強度や設置環境によって適切な金具や転落防止器具は異なりますので注意してください。

□ L字型金具

タンスのような大きな家具を木ネジやボルトで壁に固定します。

主に上向き取り付けと下向き取り付けがありますが、強度が高いのは下向き取り付けです。

ただし、強度が高い壁下地の柱や桟、間柱、胴縁などに打ち込む必要があります。



□ 粘着マット

家具の底面と床面を接着し、地震振動の吸収や滑り止め防止になります。

切って使えるタイプも多いので、家具以外にもテレビや大きな花瓶にも使用できます。

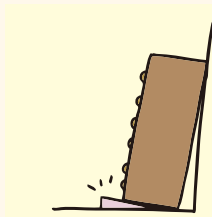


□ キャスター下皿

キャスターの下に置いて家具の移動を防止します。キャスター付き家具、ストッパーがついていない家具の滑り出しを防ぎます。

□ 転倒防止プレート

家具の手前に挟み込むことで、壁側に傾かせて固定します。



□ 転倒防止突っ張り棒

食器棚や本棚、タンスなど背の高い家具と天井の隙間に設置し、転倒しないように支えるポールです。

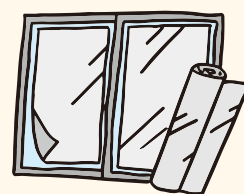
ネジや釘が不要なため、賃貸住宅でも設置できます。

なお、粘着マットやストッパーと組み合わせれば、強度が高まります。



□ ガラス飛散防止フィルム

地震や台風のとくに起こるガラス破片の飛散を防ぎます。



■ 家具の転倒防止のお金をかけない「合わせ技」

転倒防止プレートの代わりに、新聞紙などを折り畳んで敷き、家具を壁側に少し傾斜させます。

次に転倒防止突っ張り棒の代わりに、段ボール箱(空箱でも良い)を家具と天井との間に詰め込みます。隙間は完全になくなくても、2~3cm程度であれば問題はありません。

次に段ボールの下部に滑り止めマットを敷き、上部に折り畳んだ新聞紙で隙間が無くなれば大丈夫です。

見た目は多少不細工ですが、これならほとんどお金を掛けずに、一定の効果を得られます。



家具の転倒や落下を防ぐポイント！

非常持ち出し品の準備&チェック

いざという時にすぐに持ち出せるように、日頃から準備・点検しておきましょう。
事前に準備出来ているか、チェックしましょう。

避難の際に持ち出すもの！

- | | |
|--|------------------------------------|
| ☐ 水 | ☐ 軍手 |
| ☐ 食品
(ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、
チョコ、乾パンなど:最低3日分の用意) | ☐ 洗面用具 |
| ☐ 防災用ヘルメット・防災ずきん | ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉 |
| ☐ 衣類・下着 | ☐ タオル |
| ☐ レインウェア | ☐ ペン・ノート |
| ☐ 紐なしのズック靴 | |
| ☐ 懐中電灯(※手動充電式が便利) | |
| ☐ 携帯ラジオ(※手動充電式が便利) | |
| ☐ 予備電池・携帯充電器 | |
| ☐ マッチ・ろうそく | |
| ☐ 救急用品
(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など) | |
| ☐ 使い捨てカイロ | |
| ☐ ブランケット | |

感染症対策にも有効です。

- ☐ マスク
- ☐ 手指消毒用アルコール
- ☐ 石けん・ハンドソープ
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 体温計

一緒に持ち出そう!!

- ☐ 貴重品
(通帳、現金、パスポート、運転免許証、
病院の診察券、マイナンバーカードなど)

子供がいる 家庭の備え

- | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| ☐ ミルク(キューブタイプ) | ☐ 子供用紙オムツ | ☐ 抱っこひも |
| ☐ 使い捨て哺乳瓶 | ☐ お尻ふき | ☐ 子供の靴 |
| ☐ 離乳食 | ☐ 携帯用お尻洗浄機 | |
| ☐ 子供用スプーンセット | ☐ ネックライト | |

女性の備え

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ 生理用品 | ☐ サニタリーショーツ | ☐ 防犯ブザー/ホイッスル |
| ☐ おりものシート | ☐ 中身の见えないごみ袋 | |

高齢者がいる 家庭の備え

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 大人用紙パンツ | ☐ 介護食 | ☐ 持病の薬 |
| ☐ 杖 | ☐ 入れ歯・洗浄剤 | ☐ お薬手帳のコピー |
| ☐ 補聴器 | ☐ 吸水パッド | ☐ デリケートゾーンの洗浄剤 |

※家族構成や地域性により、最低限準備しておきたい持ち出し品は異なります。
家族でしっかりと話し合い、必要な持ち出し品を決めることがとても重要です。
※揃えた非常持ち出し品は、玄関など直ぐに持ち出せるところに置くことが重要です。

ローリングストックで常に備蓄を💡

「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

備蓄の目安＝家族の人数×最低3日分



マイタイムライン

マイタイムラインは、大雨や台風などの自然災害から自分自身を守るための防災行動計画です。

町民一人ひとりが、あらかじめ避難行動をまとめておくことで、あなたと家族の行動がはっきりとし、いざという時に慌てずに避難することができますので、家族で話し合い作成してみましょう。

■ 防災マップを確認する

防災マップの使い方(P 1)のフェーズ1からフェーズ3までの内容を家族で再確認するために作成するものが「マイタイムライン」です。

まずは防災マップで自宅周辺の災害リスクを確認しましょう。

◆防災マップで災害リスクを確認！

- ① 自宅の場所を確認し、補助シールの自宅シールを貼る

- ②自宅周辺に色などが
ついてないか確認する
→緑色が付いている

- ③ 色などがついてい
る場合は、災害リスクを
確認する
→洪水浸水想定
0.5m～3.0m未満の
区域



確認した点(①～⑤)はマップにメモしておく

- ④災害リスクに応じて避難先を確認し、補助シールの避難所シールを貼る

→浸水リスクのない
(色が付いていない)
避難先として「妹の家」
を選択

- ⑤避難先に移動する
経路を確認し、経路に
印を付ける(災害リス
クを避けて移動)
→できる限り色が薄い
経路を選択

■マイタイムラインの作り方

次の①～⑤の手順で補助シールを貼って、
マイタイムラインを完成させましょう。

- ① 避難する場所を記入しましょう。
- ② 避難情報や気象情報から避難のタイミングを考えましょう。
- ③ 避難準備の開始・避難開始・避難完了の補助シールを貼りましょう。
- ④ 避難開始までの行動を考えて補助シールを貼りましょう。
- ⑤ 地域に対しての行動を考えて補助シールを貼りましょう。

※ マイタイムラインのとるべき行動欄に貼る補助シールには、「避難準備の開始」、「避難開始」、「避難完了」などが書かれた補助シールと空白の補助シールがあります。

※ 空白のシールは、自分で必要と思うことを自由に書き込んで使用しましょう。

防災マップ

マイタイムライン

名前			
家族構成			

自宅や周辺の危険箇所 ① 洪水発生箇所、駅・大規模ビル等
 ② 洪水発生時の危険（建物・道路等） ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

警戒レベル 避難情報	警戒レベル1 警戒レベル2	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル5 緊急安全確保
防災 気象情報	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿			
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿			
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿			
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿			
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿			

母は早めに避難するので、「大雨・洪水注意報」などが発表された段階で、準備開始！

自分は町内に避難の呼びかけを行ってから避難開始

避難準備の開始 作られたマイタイムラインを再確認	避難開始 避難にかかる時間	避難開始 避難にかかる時間	避難完了 避難にかかる時間	避難完了 避難にかかる時間
--	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

自分の避難に影響が出ない範囲で町内に避難の声がけ

これから妹の家で「お世話になる」ことを伝える

避難に時間のかかる母は早めに避難

防災マップで妹の家は浸水しないことを確認

母は早めに避難するので、「大雨・洪水注意報」などが発表された段階で、準備開始！

自分は町内に避難の呼びかけを行ってから避難開始

避難準備の開始 作られたマイタイムラインを再確認	避難開始 避難にかかる時間	避難開始 避難にかかる時間	避難完了 避難にかかる時間	避難完了 避難にかかる時間
--	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

自分の避難に影響が出ない範囲で町内に避難の声がけ

これから妹の家で「お世話になる」ことを伝える

避難に時間のかかる母は早めに避難

防災マップで妹の家は浸水しないことを確認

母は早めに避難するので、「大雨・洪水注意報」などが発表された段階で、準備開始！

自分は町内に避難の呼びかけを行ってから避難開始

避難準備の開始 作られたマイタイムラインを再確認	避難開始 避難にかかる時間	避難開始 避難にかかる時間	避難完了 避難にかかる時間	避難完了 避難にかかる時間
--	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

自分の避難に影響が出ない範囲で町内に避難の声がけ

これから妹の家で「お世話になる」ことを伝える

避難に時間のかかる母は早めに避難

防災マップで妹の家は浸水しないことを確認

母は早めに避難するので、「大雨・洪水注意報」などが発表された段階で、準備開始！

自分は町内に避難の呼びかけを行ってから避難開始

避難準備の開始 作られたマイタイムラインを再確認	避難開始 避難にかかる時間	避難開始 避難にかかる時間	避難完了 避難にかかる時間	避難完了 避難にかかる時間
--	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

自分の避難に影響が出ない範囲で町内に避難の声がけ

これから妹の家で「お世話になる」ことを伝える

避難に時間のかかる母は早めに避難

防災マップで妹の家は浸水しないことを確認

母は早めに避難するので、「大雨・洪水注意報」などが発表された段階で、準備開始！

自分は町内に避難の呼びかけを行ってから避難開始

避難準備の開始 作られたマイタイムラインを再確認	避難開始 避難にかかる時間	避難開始 避難にかかる時間	避難完了 避難にかかる時間	避難完了 避難にかかる時間
--	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

自分の避難に影響が出ない範囲で町内に避難の声がけ

これから妹の家で「お世話になる」ことを伝える

■避難のポイント

- 夜間の避難は危険です。避難は明るいうちに開始しましょう。
- テレビや気象庁ＨＰで雨や風が強くなるタイミングを確認して、雨風が強くなる前に避難しましょう。

ポイント



避難情報

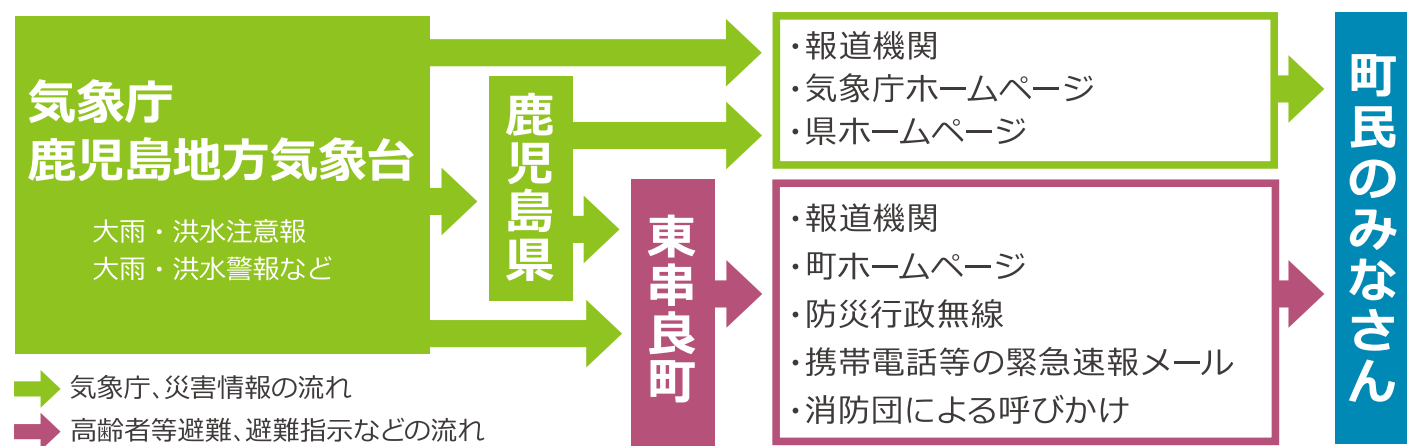
町では、皆さんの生命に危険が及ぶと判断した場合、「高齢者等避難（警戒レベル3）」、「避難指示（警戒レベル4）」、「緊急安全確保（警戒レベル5）」を発令し避難を促します。

なお、避難のタイミングは、「緊急安全確保（警戒レベル5）」の発令を待ってはいけません。「避難指示（警戒レベル4）」までには、必ず避難しましょう。

また、「緊急安全確保（警戒レベル5）」は、市町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。

■ 気象情報・防災情報などの流れ

気象に関する注意報や警報が発表されたら、町からの情報に注意してください



■ 警戒レベルと避難のタイミング

避難情報等（警戒レベル）			河川水位や雨の情報 （警戒レベル相当情報）	
警戒 レベル	住民がとるべき行動	市町村の情報	気象庁等の情報	
			土砂災害の情報（雨）	浸水の情報（河川）
5	・命の危険 直ちに安全確保！ すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。 いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動などする。	緊急安全確保 必ず発令する 情報ではない※	大雨 特別警報	氾濫 発生情報
~~~~~ ＜警戒レベル4「避難指示」までに必ず避難！＞ ~~~~~				
4	<b>・危険な場所から全員避難</b> 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前や日没時間等を考慮して避難を完了しておく。	<b>避難指示</b>	<b>土砂災害 警戒情報</b>	<b>氾濫 危険情報</b>
3	<b>・危険な場所から高齢者等は避難</b> 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	<b>高齢者等避難</b>	<b>大雨警報 洪水警報</b>	<b>氾濫 警戒情報</b>
2	<b>・自らの避難行動を確認</b> 防災マップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認する。		<b>大雨注意報 洪水注意報</b>	<b>氾濫 注意情報</b>
1	<b>・災害への心構えを高める</b>		<b>早期注意情報</b>	

※警戒レベル5「緊急安全確保」は、市町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。



## ■ 気象・防災情報の確認

東串良町  
ホームページ



気象庁  
鹿児島地方気象台



気象庁  
雨雲の動き



気象庁  
キキクル(洪水)



気象庁  
キキクル(土砂災害)



国土交通省  
ハザードマップポータルサイト



国土交通省  
川の防災情報



大隅河川国道事務所  
リアルタイム防災情報



鹿児島県  
河川砂防情報システム



九州電力送配電  
停電情報



## ■ 災害時の避難情報等の確認

防災行政  
無線

防災行政無線は、屋外に設置している拡声機から放送されます。  
雨天、強風などで放送内容が聞こえづらいことがありますが、次の番号に  
電話をしていただくと、最新の放送内容を確認することができます。

**電話番号: 0994-63-3831**



また、町では企業を含めた住民の皆さんに、災害時の緊急情報や行政放送を伝達するため、防災行政無線を無料で貸し出しています。

防災行政無線戸別受信機は、ご家庭に設置することで、放送内容の確認ができることから、設置がお済みでない方は、役場総務課までご連絡ください。  
(東串良町役場 総務課 0994-63-3131)

携帯電話を  
活用する

### ■登録制メールを活用する

町では、大規模災害に対する災害対策本部機能の充実を図るため、登録制メールによる避難情報等の配信を行います。

#### 1. 二次元コード

次の二次元コードを、自身の携帯電話の二次元コードリーダーで読み取ると、メール送信画面に移行しますので、そのまま送信してください。

**メールアドレス: bousai.higashikushira-town@raidan3.ktaiwork.jp**



#### 2. メール受信

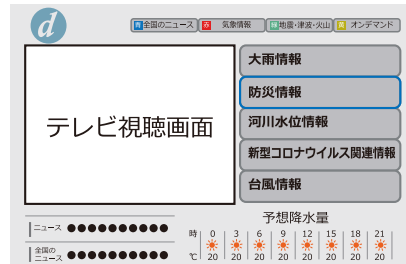
約1分後に送信したメールアドレスへ「メールサービス登録通知」が届きますので、添付されているリンクを開いてください。

#### 3. 登録内容

- (1) 氏名【自由入力】※苗字と名前の間に全角スペースを入れてください。
- (2) 電話番号【自由入力】※ハイフンは必要ありません。
- (3) 居住地区【選択型】※町外に居住している方は、その他を選択してください。

テレビを  
活用する

インターネットなどが使えない場合、テレビでも気象情報や避難情報などを入手することができます。テレビ番組視聴中に、リモコンの『dボタン』を押すと、最新の気象情報や河川の水位情報、自治体から発令される避難情報などが確認できます。※リモコンの種類により、dボタンの位置や表記等は異なります。



# 地域ぐるみで取り組む 防災・減災

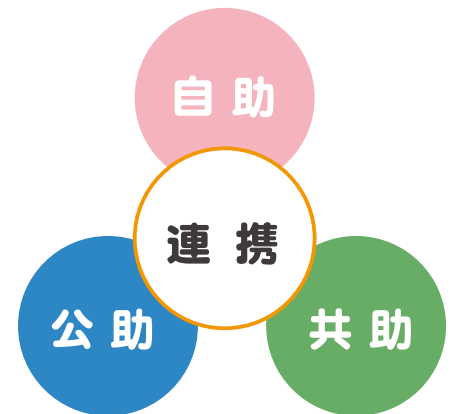
## ■ 自助・共助・公助について

### ＜地域の防災力＞

**自助**：自分の命は自分で守る

**共助**：自分たちの地域は  
自分たちで守る

**公助**：行政など公的機関による対応



災害の被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助それぞれの取り組みが連携し、災害への対応力を高めていくことが大切です。

大規模災害時において、公助だけでは限界があり、自助・共助による取り組みが必要になります。



## ■ 自主防災組織の必要性について

防災関係機関の活動能力が制限されるような災害において、被害の防止又は軽減を図るためには、住民が自主的に出火防止、初期消火、被災者の救出救護、避難等を行うことが必要です。

これらの災害活動を行うに当たり、各自がバラバラに行動するのではその効果はあまり期待できません。住民が地域ごとに団結し、組織的に行動することによってその効果が最大限に発揮されます。

このため、地域住民によりその実情に応じた自主防災組織が結成され、日ごろから災害が発生した場合を想定した訓練等を積み重ねておくことが重要です。

### 自主防災組織の活動の例

平常時において	災害が発生した場合には
○ 防災知識の普及     ○ 地域の災害危険の把握     ○ 防災訓練の実施     ○ 火気使用設備器具等の点検     ○ 防災資機材の整理・点検    - など      	○ 災害情報の収集及び迅速な伝達     ○ 出火防止と初期消火     ○ 避難誘導     ○ 被災住民の救出・救護     ○ 給食・給水    - など      

# 災害の種類 <風水害・台風>

風水害・台風の被害は、梅雨期から台風シーズンに集中して起こっています。

毎年、梅雨に入る前に家庭での災害への備えを見直しましょう。

また、台風や豪雨などの情報に注意するのはもちろんのこと、日常の気象の変化にも十分注意しましょう。

## ■ 雨の強さと降り方（1時間雨量）

時間雨量(mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる

## ■ 台風の大きさと強さ

台風は、毎年のように日本に襲来し、きわめて大きな災害をもたらすことがあります。

台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。



大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上～800km未満	強い	33m/秒以上～44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上～54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上

## ■ 集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。

発生の予測は困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

## ■ 線状降水帯

線状降水帯は、激しい雨を降らせる積乱雲が列をなし、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作りだされる、長さ50～300km程度、幅20～50km程度の線状に伸びる強い降水域です。

線状降水帯による顕著な大雨によって、毎年のように数多くの甚大な災害が生じています。

## ■ 記録的短時間大雨情報

県内で数年に一度しか発生しないような猛烈な短時間の大雨を観測または解析したときに、府県気象情報の一種として発表されます。  
(発表基準: 鹿児島県は120mm/1時間雨量)

# 災害の種類 <洪水・浸水害>

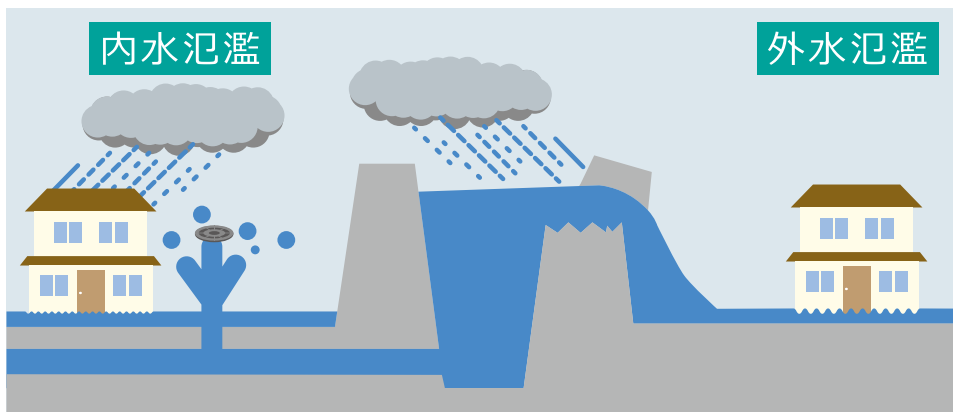
## ■ 氾濫の種類

舗装が普及した地域では、雨水が地中にしみ込みにくくなっていることも影響し、集中豪雨等により河川や排水路の排水処理能力を超えた雨水が低い場所に集まり、短時間のうちに浸水します。

たとえ近くに川がなくても「水害」への注意が必要です。

### 内水氾濫とは

雨水の排水先の河川の水位が高くなった時などに、雨水が排水できなくなりおきる氾濫。



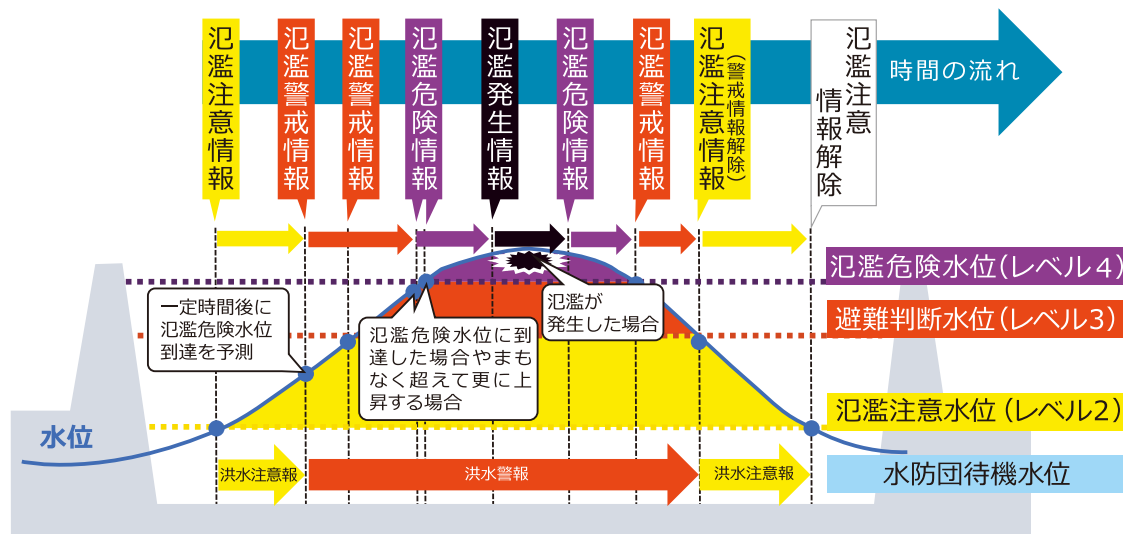
### 外水氾濫

### 外水氾濫とは

大雨の水が河川に集まり、河川の水かさが増し堤防を超える、あるいは堤防を決壊させて河川の水が外にあふれておきる氾濫。

## ■ 河川の危険水位

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から洪水予報が発表されます。町では、この情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。



串良川	肝属川
豊栄橋	俣瀬橋
4.90m	5.00m
4.40m	4.70m
3.70m	3.80m
2.10m	2.80m

## ■ 避難行動のポイント

### ！ 浸水が始まる前に早めの避難を

氾濫が発生した場合、大人の膝程度の深さで歩行が困難となります。  
浸水してから自宅外への避難はとても危険ですので、早めに避難しましょう。

### ！ 川や用水路に近づかない

降雨が続き不安に思っても、川や用水路などは見に行かないようにしましょう。  
河川の確認をしたいときは、ライブカメラなど活用しましょう。

### ！ 状況に応じた避難を

避難場所まで移動できない場合、または移動途中であっても危険を感じた場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階へ避難しましょう。

### ！ やむなく浸水の中を歩く際は

やむなく浸水した場所を歩く際は、裸足や長靴は危険です。水中で脱げづらい紐靴などが適しています。  
また、氾濫した水は濁っているため、長い棒などを杖代わりにして、側溝などの障害物に注意しましょう。

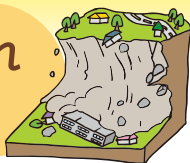




# 災害の種類 <土砂災害>

## 土砂災害の種類

### がけ崩れ



地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。

がけ崩れは、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。

#### 災害の前兆

☐ がけにひび割れができる ☐ 小石がパラパラ落ちてくる ☐ 水が湧き出る、水が濁る ☐ 地鳴りがする

### 土石流



山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。

その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

#### 災害の前兆

☐ 地面がひび割れる、陥没する ☐ がけや斜面から水が噴き出す ☐ 地鳴り、山鳴りがする ☐ 樹木が傾く  
☐ 亀裂や段差が発生する

### 地すべり



斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。

一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。

また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。

#### 災害の前兆

☐ 川の水が濁り、流木が混ざる ☐ 腐った土の匂いがする ☐ 雨が降っているのに水位が下がる ☐ 山鳴りがする  
☐ 立木がさける、石がぶつかり合う音が聞こえる

## 土砂災害の警戒区域

土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

### 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域

### 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

最新の土砂災害警戒区域は、こちらから▶▶▶  
(鹿児島県 土砂災害警戒区域等マップ)



## 避難行動のポイント

土砂災害は突発性が高く、甚大な被害をもたらします。

上記の「災害の前兆」現象は、経験則として土砂災害発生の前に感じられるものとして知られていますが、特に警戒区域内においては避難の猶予がほとんどないものと考え、「様子がおかしい」と感じたら、ただちに避難行動をとってください。

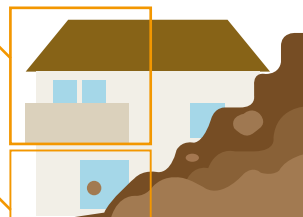
### 土砂災害から身を守るポイント

- 1 住んでいる場所が「土砂災害(特別)警戒区域」かどうか確認してください。
- 2 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意してください。
- 3 危険を感じたら早めに避難してください。

避難場所等への移動が  
どうしても困難な場合は・・・

家の2階以上へ  
(がけと反対側)

それでも困難なら/  
がけから  
離れた部屋へ



# 災害の種類 <地震・津波>

地震は、台風や土砂災害などと違い、いつどこで発生するか予測の難しい自然災害です。  
いざという時にあわてず適切に行動できるよう、日頃から地震に対しての知識や心構えを身に付けておきましょう。

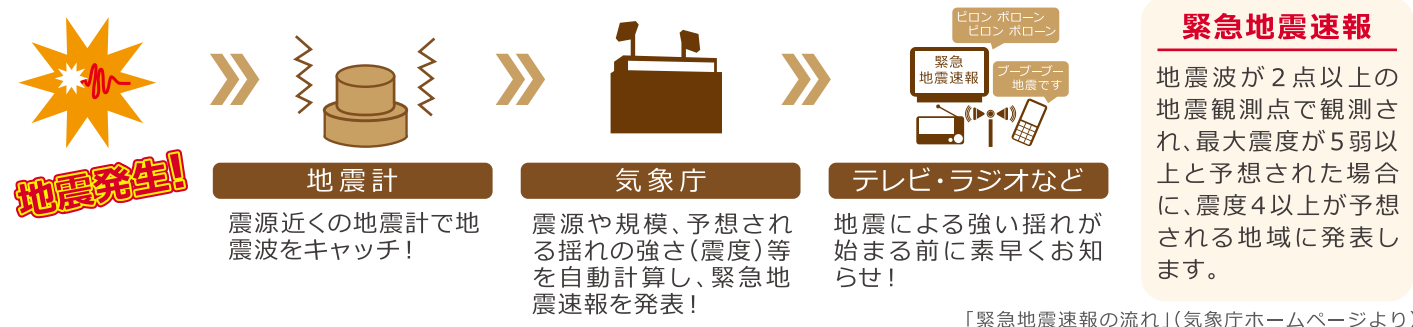
## 想定される地震

震 源	マグニチュード	最大震度	津波到達時間		最大津波高
			津波の高さ+1m	最大津波	
南海トラフ【西側】	9.1	5 強	38分	49分	T.P.+7.20m
種子島東方沖	8.2	6 弱	29分	41分	T.P.+4.27m

※最大津波高の「T.P.」は、東京湾平均海面です。

※鹿児島県地震等災害被害予測調査(平成24～25年度)より

## 緊急地震速報の流れ



## 地震発生時の時間経過別行動のポイント

### 地震発生

#### まずは落ち着いて自分の身を守る

##### 屋内にいるとき

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。
- あわてて外に飛び出さない。
- 無理に火を消そうとしない。

##### 屋外にいるとき

- ブロック塀や自動販売機などから離れる。
- 看板や窓ガラスなどの落下に注意して建物から離れる。

##### 車を運転しているとき

- 道路の左側に停車させエンジンを切る。
- キーは付けたままロックもしない。
- 貴重品を持ち出し徒歩で避難。



2分  
～  
10分

#### 揺れがおさまったら、余震に注意しつつ家族の無事を確認し、火災の発生を防ぐ

- 家族の安全を確認。
- 火元を確認し、出火していたら落ち着いて初期消火。
- ケガをしないように靴や厚手のスリッパを履く。
- テレビやラジオなどで正しい情報を得る。
- 避難するときは、電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉める。
- 防災マップの「ドアノブサインプレート」などを活用し、避難したことを近隣住民に知らせる。



10分  
～  
半日

#### 隣近所の安否確認と助け合い

- 隣近所で助け合い、要配慮者の安全確保と行方不明者・ケガ人の確認。
  - 協力して消火・救助活動。
- ※火災が発生しているときは、可能な範囲で消火器やバケツリレーなどを用いて消火を行う。



半日  
～  
3日

#### 余震及び2次災害に気をつける

- 避難所では、「ゆずりあい」「おもしろい」「たすけあい」の気持ちをもって過ごす。
- 崩れそうな建物や河川や海、がけなどには近づかない。
- 水や食料などは、備蓄品でまかなう。



## 災害の種類

# <地震・津波>

津波から命を守るために、「強い揺れを感じる」や「弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じる」、「揺れが無くても津波警報を見聞きした」場合は、より高い場所へ直ちに避難しましょう。

また、津波は長い時間繰り返し襲ってきますので、津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。

## 津波警報・津波注意報

気象庁は、津波による災害の発生が予想される場合に、地震が発生してから約3分を目標に、「大津波警報」、「津波警報」または「津波注意報」を発表します。

種類	発表される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m超 (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安全と思わず、安全を確保しながら、より高い場所を目指して避難しましょう。	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。 人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (0.2m<高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。 養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

## 避難時のポイント

### 高い場所へ直ちに避難する

より高い場所へ、より海から遠い場所へ直ちに避難しましょう。



### 河川や海岸には近づかない

地震の発生や、津波警報・注意報が発表された場合、海岸や河川は危険ですので、釣りや海水浴を行っている方は、速やかに海岸から離れ、高い場所へ避難しましょう。

### なるべく徒歩で避難する

渋滞や緊急車両の交通の妨げとなる可能性があるため、なるべく徒歩で避難しましょう。



### 正しい情報を入手する

防災行政無線やテレビ、ラジオなどから正しい情報を入手しましょう。



## ■ 南海トラフ地震臨時情報

「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報です。

情報名の後にキーワードが付記され「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」等の形で情報発表されます。

政府や自治体から、キーワードに応じた防災対応が呼びかけられますので、呼びかけの内容に応じた防災対応をとってください。

南海トラフ地震臨時情報	
発表条件       ■ 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合     ■ 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合	
キーワード	と る べ き 防 災 対 応
調査中	南海トラフ地震臨時情報(調査中)が発表された場合は、個々の状況に応じて避難等の防災対応を準備・開始し、今後の情報に注意してください。   また、地震発生から最短2時間後に観測された異常な現象の調査結果が発表されます。   政府や自治体からキーワード(巨大地震警戒、巨大地震注意または調査終了)に応じた防災対応が呼びかけられますので、それぞれの内容に応じた防災対応をとってください。
巨大地震警戒	南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合は、日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難できる準備をする必要があります。   地震発生後の避難では間に合わない可能性のある住民は1週間の事前避難を行う必要があります。
巨大地震注意	南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表された場合は、事前の避難は伴いませんが、日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難できる準備をしましょう。
調査終了	南海トラフ地震臨時情報(調査終了)が発表された場合は、地震の発生に注意しながら通常の生活を行いましょう。   ただし、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しておきましょう。

## 災害の種類 <高潮>

### ■ 台風等による高潮のリスク

高潮は、主に台風や発達した低気圧の接近に伴い、吸い上げ効果や吹き寄せ効果などにより、海面が異常に上昇する現象で、短時間のうちに急激に潮位が上昇することがあります。

高潮で潮位が高くなって海岸堤防の高さを越えると、一気に海水がなだれ込んできます。

また、潮位が海岸堤防の高さを越えていなくても、高潮と重なった高波が海岸堤防を越えて侵入してくることがあります。

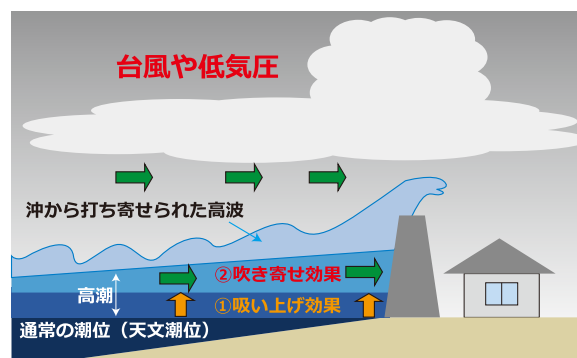
#### 1. 気圧低下による吸い上げ効果

台風や低気圧の中心付近では気圧が低いため、その部分の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。

気圧が1hpa低くなると、海面は約1cm上昇します。

#### 2. 強風による吹き寄せ効果

台風や低気圧に伴う強風が沖から海岸に向かって吹くと、海水が海岸に吹き寄せられ、海面が上昇します。





# 災害の種類 <火災>

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、落ち着いて119番通報をしましょう。

## ■ 初期消火の3原則

- ① **早く知らせる**
  - 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
  - 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。
- ② **早く消火する**
  - 消火器で消火する。
  - 消火器がない場合は、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近なものを活用する。

### 火元別初期消火のコツ

**油なべ** 慌てて水をかけるのは危険です。  
消火器が無ければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前から掛け、空気を遮断して消火します。

**ストーブ** 消火器は直接火元に向けて噴射する。  
石油ストーブの場合は、粉末消火器を使用します。  
消火器が無ければ濡らした毛布などを手前から掛け、空気を遮断して消火します。

**衣類** 着衣に火が付いたら、転げまわって消すことが有効です。  
髪の毛の場合なら、タオルや衣類(化学繊維は避ける)などを頭から被ります。

**風呂場** 風呂場からの出火に気付いても、いきなり扉を開けるのは危険です。  
空気が室内に供給されて火の勢いが強まる可能性があります。  
ガスの元栓を閉めて、徐々に扉を開けてから一気に消火します。

**電気製品** 水を掛けると感電の危険があります。  
まずは電源ケーブルをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火します。

**カーテン  
ふすま** カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、余裕はありません。  
引きちぎるなど、火元を天井から遠ざけてから消火します。

- ③ **早く逃げる**
  - 天井に火が燃え移った場合は、直ちに避難する。
  - 避難するときは、燃えている部屋のドアを閉めて空気を絶つ。

## ■ 消火器の使い方

### □ 粉末・強化液消火器の場合

- ① 安全ピンに指をかけ上に引き抜く。
- ② ホースをはずして火元に向ける。
- ③ レバーを強く握って噴射する。



### □ 消火の際のポイント

- 出入口を背後にして、避難路を確保する。
- 姿勢を低くし、煙を吸い込まないようにする。
- 炎や煙ではなく、火の根元を掃くようにノズルを左右にふる。
- ホースが強く降られるので、ノズルをしっかり握る。
- 炎が天井に届いたら、消火器での消火は危険なので、直ちに避難する。

## 火災予防が一番!!

### 住宅用火災警報器の設置義務化

消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

※火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。

**※定期的に動作確認をしましょう！  
また、10年を目安に交換しましょう！**

### 火災警報器の設置場所

- 寝室…すべての寝室(子供部屋や高齢者の居室など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台所…台所への設置もおすすめします。

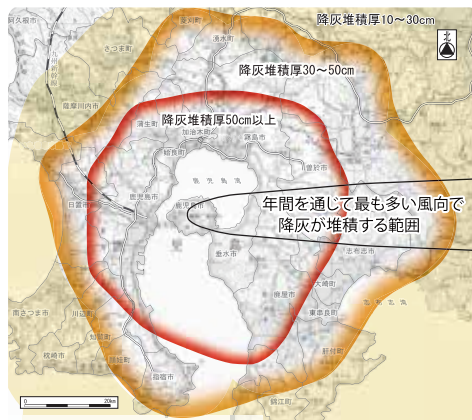
## 災害の種類

# <桜島大噴火>

## ■ 噴火予報及び噴火警報が発表されたら

- ・降灰を避けるため風向きを確認し、風向きに対して直角方向に避難しましょう。
- ・大地震の発生に注意しましょう。
- ・海岸付近にいる方は、津波の恐れがあるので、高台に避難しましょう。

### 大規模噴火時の降灰分布予測



- 上の図は有史以降に最も多くの火山灰や軽石を噴出した文明噴火時の噴出量を想定しています。
- 実際の噴火の時には、そのときの風向きによって灰が流される方向が変わります。
- 桜島上空の一年間の風向、風速を分析し、各方位に火山灰が到達する可能性のある範囲の全てを包括的に示しています。なお、一度に全ての方向に到達するわけではありません。

### 予想される噴火の影響

現象	影響
降灰	火山灰は風に流されて降り積もり、風下側では、噴火後2~3日間で堆積厚さ50cm以上になる可能性があります。
降灰堆積厚ごとの影響	50cm程度：木造家屋が倒壊する可能性があります。 30cm程度：山地の渓流では、土石流が発生します。河川では、洪水氾濫が起こりやすくなります。
土石流・洪水	火山灰が積もると、少しの雨でも土石流や洪水が発生しやすくなります。 噴火が収まった後も、しばらくは発生しやすい状態が続きます。
地震	大規模噴火に伴い、桜島や周辺地域で震度5~6の地震が起こる可能性があります。
津波・浸水	地震や海底火山、岩なだれによる津波が発生することがあります。また、地下のマグマが大量に放出されるので、地盤が下がり、沿岸地域では浸水被害が発生することがあります。

## 災害の種類

# <武力攻撃災害>

## ■ 武力攻撃事態の類型ごとの特徴

武力攻撃事態の想定は、武力攻撃の手段、その規模の大小、攻撃パターンなどにより異なることから、どのようなものとなるかについて一概にはいえませんが、国民の保護に関する基本指針においては、下記の4つの類型を想定し、国民の保護のための措置の実施にあたって留意すべき事項を明らかにしています。

### 着上陸侵攻

- ・船舶により上陸する場合は、沿岸部が当初の侵攻目標となりやすい。
- ・航空機による場合は、沿岸部に近い空港が攻撃目標となりやすい。
- ・国民保護措置を実施すべき地域が広範囲にわたるとともに、期間が比較的長期に及ぶことも想定されます。

### 弾道ミサイル攻撃

- ・発射された段階での攻撃目標の特定が極めて困難で、短時間での着弾が予想されます。
- ・弾頭の種類(通常弾頭であるのか、NBC弾頭であるのか)を着弾前に特定するのが困難であり、弾頭の種類に応じて、被害の様相や対応が大きく異なります。

### ゲリラ・特殊部隊による攻撃

- ・突発的に被害が発生すること考えられます。
- ・被害は比較的狭い範囲に限定されるのが一般的ですが、攻撃目標となる施設(原子力事業所などの生活関連等施設など)の種類によっては、大きな被害が生ずる恐れがあります。
- ・NBC兵器やダーティボムが使用されることも想定されます。

### 航空攻撃

- ・弾道ミサイル攻撃の場合に比べ、その兆候を察知することは比較的容易ですが、予め攻撃目標を特定することが困難です。
  - ・都市部の主要な施設やライフラインのインフラ施設が目標となることも想定されます。
- ※NBCとは、核兵器、生物兵器、化学兵器の総称です。

## ■ 警報が発令されたら

みなさんの安全を守るため、武力攻撃やテロなどが迫りまたは発生した地域には、市町村から原則として特別なサイレン音を使用した防災行政無線により、みなさんに注意を呼びかけることとしています。また、住民のみなさんの避難が必要な地域には、テレビ・ラジオなどで避難を呼びかけます。

# 避難所一覧

## 指定緊急避難場所

指定緊急避難場所は、災害の危険が切迫した状況で、命を守るために避難する場所です。

大雨や台風などで、指定緊急避難場所を開設する箇所については改めて防災行政無線等でお知らせいたします。

番号	施設・場所名	住 所	対応する災害の種類								指定避難所との重複
			洪水	内水氾濫	土砂災害	台風	津波	高潮	地震	大規模火災	
1	池之原小学校	池之原 2940	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	中央分団詰所	池之原 991-1	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	東串良町総合センター	池之原 995-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	東串良中学校	川西 1615	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	東串良町保健センター	川西 1543	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	別府原分団詰所	川西 1654	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	東串良町総合体育館	川西 1850	○	○	○		○	○	○	○	○
8	新川西分団詰所	新川西 4832	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	東串良町高齢者福祉センター	池之原 2157	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	溜水構造改善センター	川東 1535	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	柏原こども園	川東 4993-2	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	柏原小学校	川東 3840	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	柏原消防会館	川東 3423	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	東串良町農村環境改善センター	川東 4989-6	○	○	○	○		○	○	○	○
15	東串良町防災センター	川東 4770-3	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	岩弘上東公民館	岩弘 2012-3					○				
17	岩弘中公民館	岩弘 2196-4					○				
18	東串良物産館ルピノンの里	池之原 2608-1					○				
19	下伊倉津波避難タワー	新川西 5780-1					○				
20	円山公園津波避難場所	川東洲崎国有林 78 ろ林小班内					○				
21	戸柱神社津波避難階段	川東 4027					○				

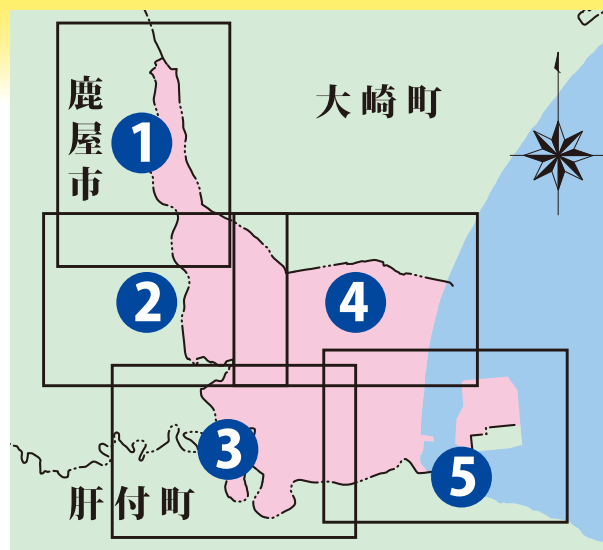
※番号1～15は、災害で家に住めなくなった人や被害を受ける恐れのある人が、一時的に生活する避難所として位置付け、番号16～21は、津波などから迅速に身を守るための一時的な避難場所として位置付ける。

## 指定避難所

指定避難所は、災害の危険があり避難した住民等が災害の危険がなくなるまで、必要な期間滞在する施設です。

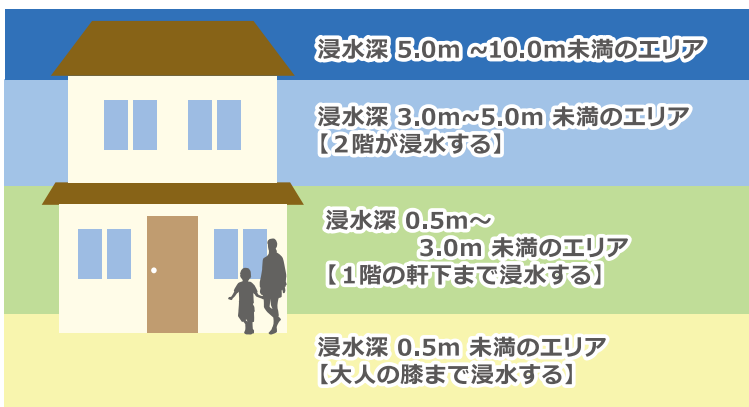
番号	施設名	住 所	対応する災害の種類							
			洪水	内水氾濫	土砂災害	台風	津波	高潮	地震	大規模火災
1	東串良町総合センター	池之原 995-1	○	○	○	○	○	○	○	○
2	東串良町保健センター	川西 1543	○	○	○	○	○	○	○	○
3	東串良町総合体育館	川西 1850	○	○	○		○	○	○	○
4	東串良町高齢者福祉センター	池之原 2157	○	○	○	○	○	○	○	○
5	溜水構造改善センター	川東 1535	○	○	○	○	○	○	○	○
6	東串良町農村環境改善センター	川東 4989-6	○	○	○	○		○	○	○
7	東串良町防災センター	川東 4770-3	○	○	○	○	○	○	○	○

# 防災マップ索引図



## ■ 浸水深の目安

防災マップで色分けされた、浸水の深さの目安です。



## ■ 洪水による浸水想定区域の留意事項

- 肝属川水系洪水浸水想定区域(想定最大規模)は、指定時点の肝属川、串良川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により、肝属川、串良川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所(平成29年3月公表)

## ■ 津波による浸水想定区域の留意事項

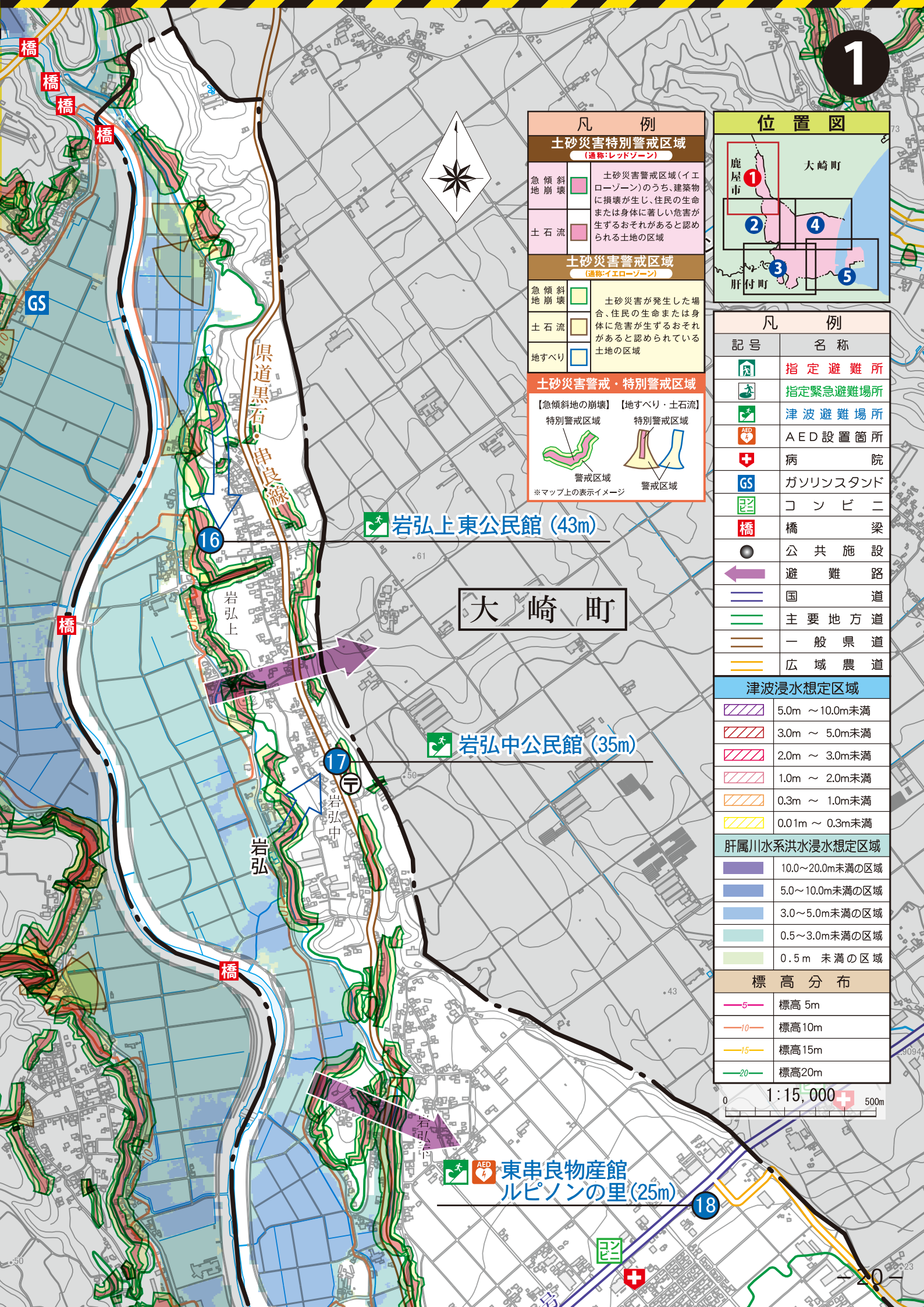
【津波の計算条件】 ○ 初期潮位：朔望平均満潮位

○ 堤防条件：100%沈下(地震発生と同時に堤防なし)

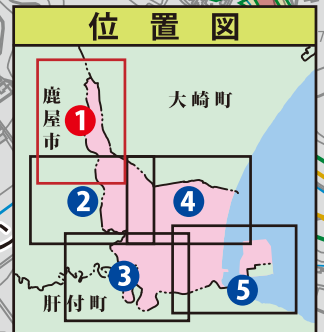
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水域と浸水深を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに深くなったりする場合があります。
- 浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を推進するためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。
- 津波は繰り返し襲って来て、あとから来る津波の方が大きくなることもあるため、浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
- 「津波浸水想定」は、想定される複数の地震による津波の最大の浸水域、浸水深を表示しており、平成25年3月に公表した「浸水想定図」と一部(肝属川河口付近)を除き同じです。
- 今後、最新の知見や精査等により、「津波浸水想定」を修正する可能性があります。
- 肝属川の河口から上流の串良川合流点付近までは、堤防耐震点検(一部耐震性能を満足しない区間は耐震策を実施済み)が行われており耐震性の評価を考慮したもの(堤防の沈下なし)となっています。

鹿児島県(平成26年9月公表)





凡 例	
<b>土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)</b>	
急傾斜地崩壊	土砂災害警戒区域(イエローゾーン)のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域
土石流	
<b>土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)</b>	
急傾斜地崩壊	土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められている土地の区域
土石流	
地すべり	
<b>土砂災害警戒・特別警戒区域</b>	
【急傾斜地の崩壊】特別警戒区域	【地すべり・土石流】特別警戒区域
警戒区域	警戒区域
※マップ上の表示イメージ	



凡 例	
記号	名 称
	指 定 避 難 所
	指定緊急避難場所
	津波避難場所
	AED設置箇所
	病 院
	ガソリンスタンド
	コ ン ビ ニ
	橋 梁
	公 共 施 設
	避 難 路
	国 道
	主 要 地 方 道
	一 般 県 道
	広 域 農 道

津波浸水想定区域	
	5.0m ~ 10.0m未満
	3.0m ~ 5.0m未満
	2.0m ~ 3.0m未満
	1.0m ~ 2.0m未満
	0.3m ~ 1.0m未満
	0.01m ~ 0.3m未満

肝属川水系洪水浸水想定区域	
	10.0~20.0m未満の区域
	5.0~10.0m未満の区域
	3.0~5.0m未満の区域
	0.5~3.0m未満の区域
	0.5m 未満の区域

標 高 分 布	
	標高 5m
	標高 10m
	標高 15m
	標高 20m



大 崎 町

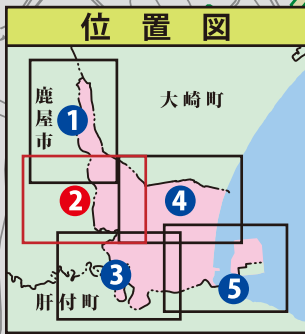
岩弘上東公民館 (43m)

岩弘中公民館 (35m)

東串良物産館  
ルピノンの里 (25m)

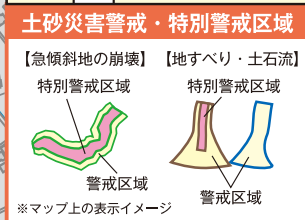


凡 例	
記 号	名 称
	指 定 避 難 所
	指定緊急避難場所
	津 波 避 難 場 所
	AED設置箇所
	病 院
	ガソリンスタンド
	ガスステーション
	コ ン ビ ニ
	橋 梁
	公 共 施 設
	避 難 路
	国 道
	主 要 地 方 道
	一 般 県 道
	広 域 農 道
津波浸水想定区域	
	5.0m ~ 10.0m未満
	3.0m ~ 5.0m未満
	2.0m ~ 3.0m未満
	1.0m ~ 2.0m未満
	0.3m ~ 1.0m未満
	0.01m ~ 0.3m未満
肝属川水系洪水浸水想定区域	
	10.0~20.0m未満の区域
	5.0~10.0m未満の区域
	3.0~5.0m未満の区域
	0.5~3.0m未満の区域
	0.5m 未満の区域
標 高 分 布	
	標高 5m
	標高 10m
	標高 15m
	標高 20m



凡 例	
土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)	
急傾斜地崩壊	土砂災害警戒区域(イエローゾーン)のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域
土石流	

土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)	
急傾斜地崩壊	土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められている土地の区域
土石流	
地すべり	



	標高 5m
	標高 10m
	標高 15m
	標高 20m







2

220号

GS

池之原上

1



池之原小学校 (24m)



中央分団詰所 (8m)



1 東串良町総合センター (7m)



4 東串良町高齢者福祉センター (13m)

池之原下  
之馬場

東串良町役場 (12m)



東串良中学校 (13m)

4

別府原

6

センター (12m)

5



別府原分団詰所 (13m)

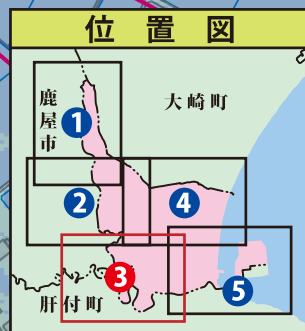


3 東串良町総合体育館 (9m)

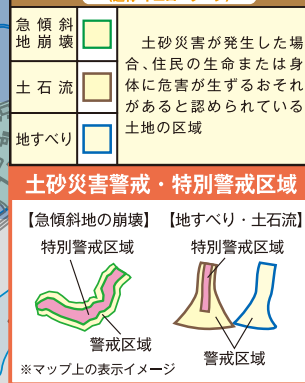
馬越

GS

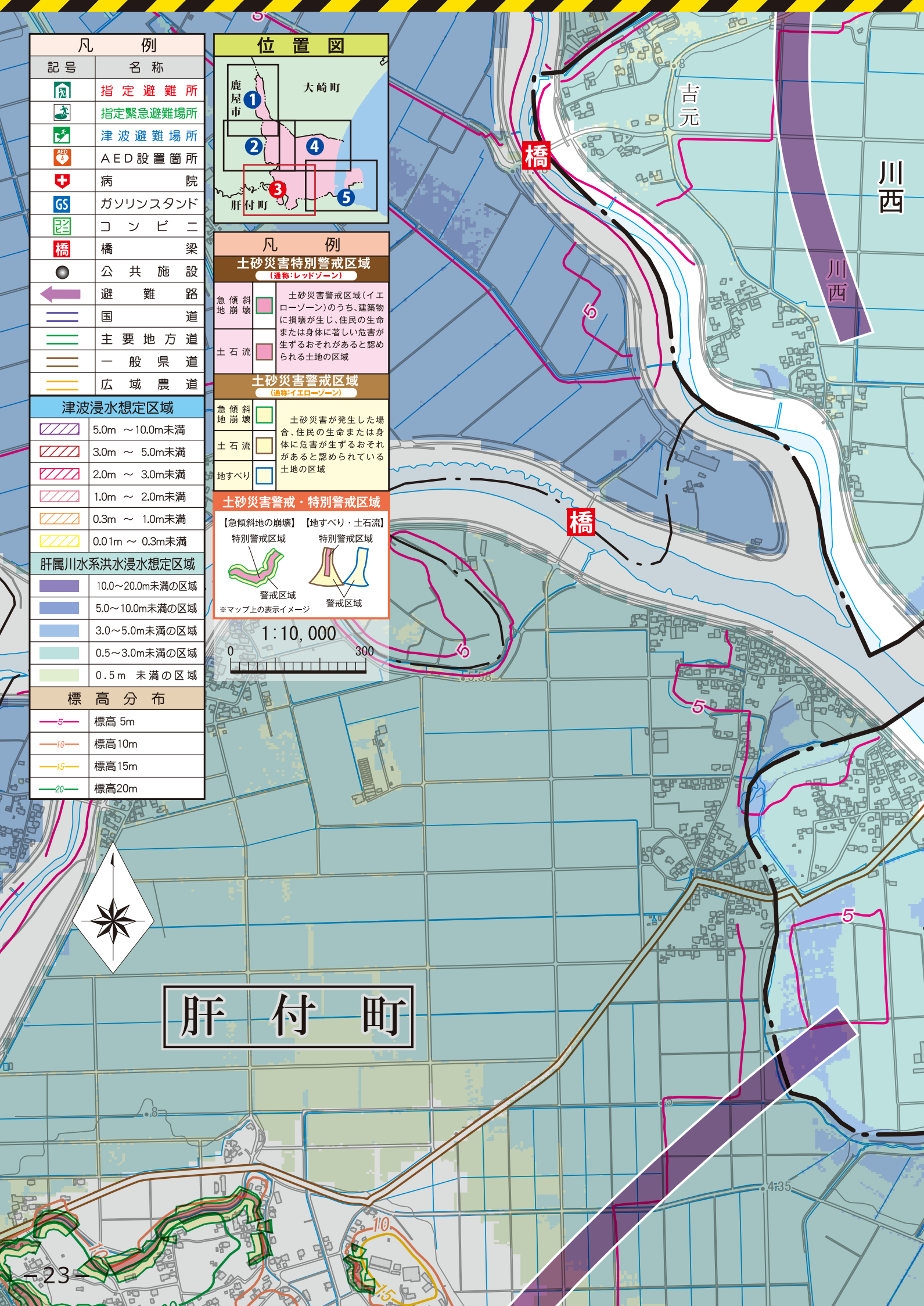
凡 例	
記 号	名 称
	指定避難所
	指定緊急避難場所
	津波避難場所
	AED設置箇所
	病 院
	ガソリンスタンド
	コ ン ビ ニ
	橋 梁
	公 共 施 設
	避 難 路
	国 道
	主 要 地 方 道
	一 般 県 道
	広 域 農 道
津波浸水想定区域	
	5.0m ~ 10.0m未満
	3.0m ~ 5.0m未満
	2.0m ~ 3.0m未満
	1.0m ~ 2.0m未満
	0.3m ~ 1.0m未満
	0.01m ~ 0.3m未満
肝属川水系洪水浸水想定区域	
	10.0~20.0m未満の区域
	5.0~10.0m未満の区域
	3.0~5.0m未満の区域
	0.5~3.0m未満の区域
	0.5m 未満の区域
標 高 分 布	
	標高 5m
	標高 10m
	標高 15m
	標高 20m



凡 例	
土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)	
	土砂災害警戒区域(イエローゾーン)のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域
土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)	
	土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められている土地の区域



肝 付 町





3

県道柏原・池之原線

新川西

新川西

大塚神社神殿 (12m)

大塚

大塚原

小新地

唐仁

俣瀬

橋

橋



新川西分団詰所 (4m(屋上12m))



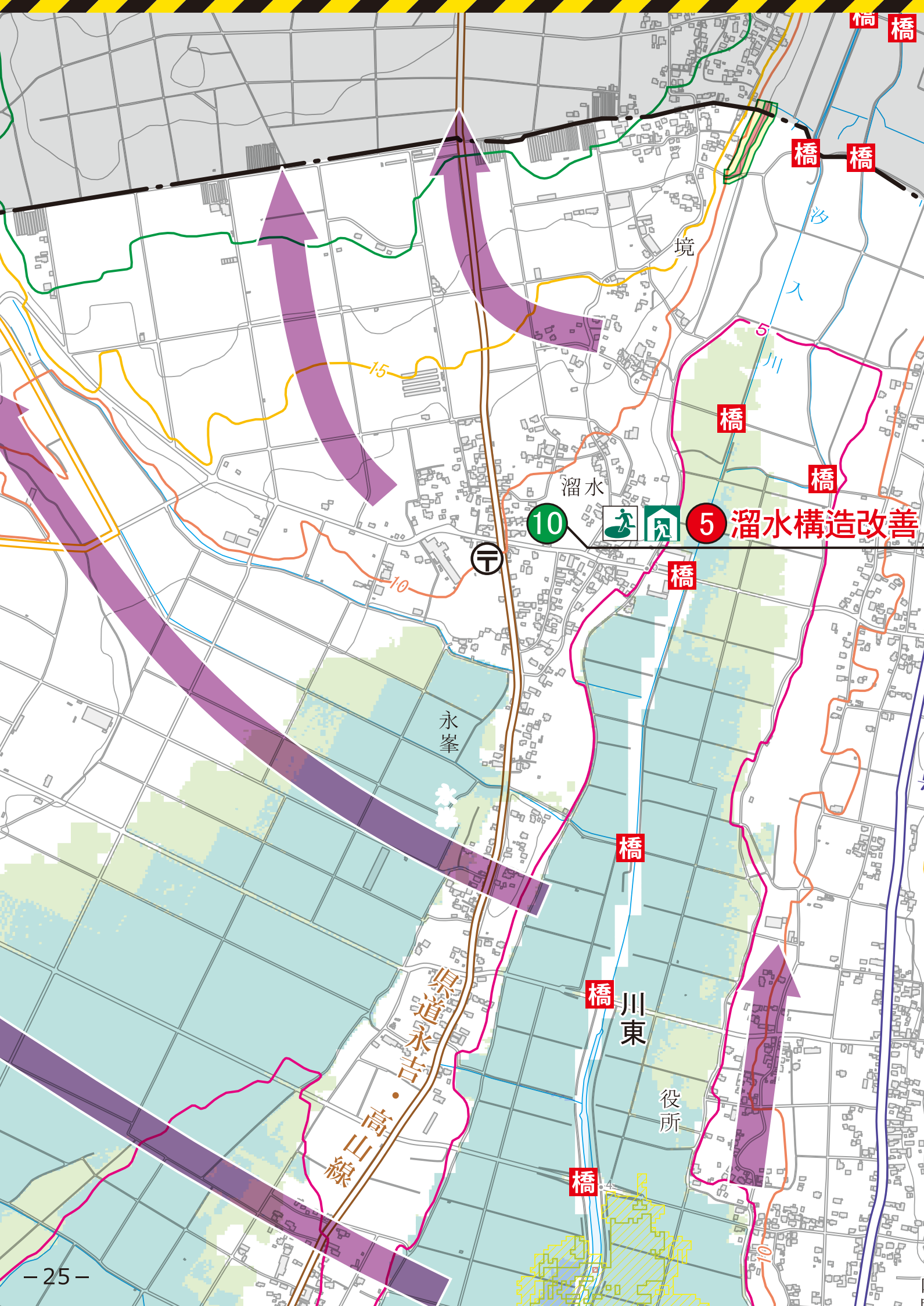
下伊倉津波避難タワー (3m(屋上11m))

19

下伊倉

橋

高山・吾平線



橋

橋

境

5

橋

橋

溜水

10



5

溜水構造改善



橋

永峯

橋

橋

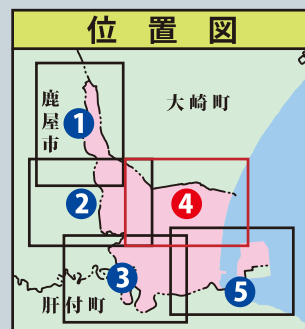
川東

役所

橋

10





凡 例	
記号	名称
	指定避難所
	指定緊急避難場所
	津波避難場所
	AED設置箇所
	病院
	ガソリンスタンド
	コンビニ
	橋
	公共施設
	避難路
	国道
	主要地方道
	一般県道
	広域農道

凡 例	
土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)	
急傾斜地崩壊	土砂災害警戒区域(イエローゾーン)のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域
土石流	
土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)	
急傾斜地崩壊	土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められている土地の区域
土石流	
地すべり	
土砂災害警戒・特別警戒区域	
【急傾斜地の崩壊】	【地すべり・土石流】
特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域
※マップ上の表示イメージ	

津波浸水想定区域	
	5.0m ~ 10.0m未満
	3.0m ~ 5.0m未満
	2.0m ~ 3.0m未満
	1.0m ~ 2.0m未満
	0.3m ~ 1.0m未満
	0.01m ~ 0.3m未満
肝属川水系洪水浸水想定区域	
	10.0~20.0m未満の区域
	5.0~10.0m未満の区域
	3.0~5.0m未満の区域
	0.5~3.0m未満の区域
	0.5m 未満の区域
標高分布	
	標高 5m
	標高 10m
	標高 15m
	標高 20m

1:10,000

0 300





橋

橋

橋

橋

橋

橋

橋

橋

柏原小学校 (10m)

柏原消防会館 (2m)

柏原こども

戸柱神社津

円山公園

中園

熊之馬場

柏原

上 10m))

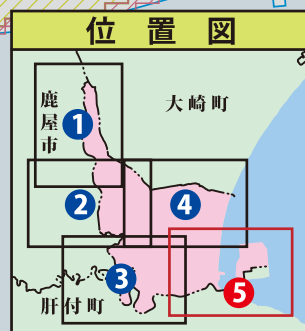
も園 (16m)

波避難階段 (15m)

園津波避難場所 (15m)



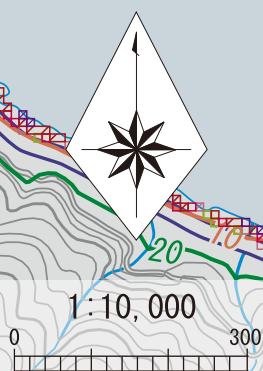
⑥ 東串良町農村環境改善センター (6m)



凡 例	
土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)	
急傾斜地崩壊	土砂災害警戒区域(イエローゾーン)のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域
土石流	
土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)	
急傾斜地崩壊	土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められている土地の区域
土石流	
地すべり	
土砂災害警戒・特別警戒区域	
【急傾斜地の崩壊】 特別警戒区域	【地すべり・土石流】 特別警戒区域
警戒区域	警戒区域
※マップ上の表示イメージ	

津波浸水想定区域	
	5.0m ~ 10.0m未満
	3.0m ~ 5.0m未満
	2.0m ~ 3.0m未満
	1.0m ~ 2.0m未満
	0.3m ~ 1.0m未満
	0.01m ~ 0.3m未満
肝属川水系洪水浸水想定区域	
	10.0~20.0m未満の区域
	5.0~10.0m未満の区域
	3.0~5.0m未満の区域
	0.5~3.0m未満の区域
	0.5m 未満の区域
標 高 分 布	
	標高 5m
	標高 10m
	標高 15m
	標高 20m

凡 例	
記 号	名 称
	指 定 避 難 所
	指定緊急避難場所
	津 波 避 難 場 所
	AED 設置箇所
	病 院
	ガソリンスタンド
	コ ン ビ ニ
	橋 梁
	公 共 施 設
	避 難 路
	国 道
	主 要 地 方 道
	一 般 県 道
	広 域 農 道





# 避難所の利用

## 避難所3つのマナー

### ゆずりあい



避難所はみんなで使うところです。限られたスペースしかありませんので、トイレの順番など、できるだけゆずり合いましょう。

### おもいやり



避難所では大きな声を出したり、走り回ったりすると、まわりの人たちの迷惑になります。お互いにおもいやりの気持ちで、過ごしましょう。

### たすけあい



ケガをしている人や身体の不自由な人、また、病気の人なども避難所には集まります。みんなが少しでも快適に過ごせるように助け合いましょう。

## 要配慮者について

要配慮者とは、災害が発生したときに特に配慮や支援が必要となる方であり、高齢者、障がいのある方、乳幼児のほか、妊産婦、傷病者、日本語を十分に理解できない外国の方などが該当します。

地域で協力し合いながら、隣近所の要配慮者の安否確認、避難所への移動支援や避難所での生活を支援しましょう。

### 高齢者・病人

- 歩行の補助をするなど協力して安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。

### 肢体の不自由な方(車いす)

- 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、協力して避難する。



### 目の不自由な方

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、誘導者のひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩く。

### 耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

## 避難時の感染症対策・心得

### 避難所に入るとき

- 避難所担当者による発熱等の確認完了後、職員の指示で順番に避難所へ入ってください。
- 避難所内では、マスクを着用してください。マスクをお持ちでない場合は、受付に申し出てください。

### 密を避ける

- 避難所は限られたスペースしかありませんので、どうしても「密」が起こりやすいです。親戚や友人宅に避難することも検討してください。
- 車中泊を行う場合は、エコノミークラス症候群や熱中症などに注意してください。

### 衛生・健康管理

- ふたのあるトイレは、ふたをしてから流してください。
- 定期的に検温を行ってください。
- 体調不良の場合は、避難所運営者に申し出てください。
- 持ち出し品としてマスク・消毒液などを準備しましょう。

### 手洗い・喉エチケットの励行

- 避難所ではマスクを着用してください。また咳エチケットも併せてお願いします。
- こまめに手洗いをを行い、食事前やトイレ後は必ず手洗い、手指消毒を行ってください。



## エコノミークラス症候群

食事や水分を十分に取らない状態で、車などの狭い座席に長時間座っていて足を動かさないと、血行不良が起こり血液が固まりやすくなります。

その結果、血の固まり(血栓)が血管の中を流れ、肺に詰まって肺塞栓など誘発し最悪の場合、命を落してしまいます。こまめな運動や水分補給など心がけて、発症を回避しましょう。

## ペットの取扱い

避難所では、多くの人たちが共同生活を送っています。

ペットの存在は、飼い主にとっては気にならないことでも、臭い、排せつ物、鳴き声などから、他の人には過度なストレスになる場合があります。

避難所で人と共存するには、一定のルールを設けるなど、トラブルにならないよう配慮する必要がありますので、避難所ではルールを守ってください。

また、非常時持ち出し品として、ケージやキャリーケース等を準備しましょう。





## 防災マップ(拡大版)等ホルダー

平常時は、このホルダーに  
「防災マップ(拡大版)」を保管しましょう。  
なお、家族で話し合って自宅や避難所の位置を  
確認し、マイタイムライン作成補助シールの  
「←自宅」や「←避難所」を防災マップ(拡大版)  
に貼りましょう。



### いざという時の連絡先

#### 消 防

(火事・救急)・・・119

#### 警 察

(事件・事故)・・・110

#### 海上保安庁

(海の事件・事故)・・・118

#### 東串良町

東串良町役場……………0994-63-3131  
東串良町役場 建設課(水道係) ……0994-63-3126

#### 国・県など

鹿児島地方気象台……………099-250-9911  
大隅河川国道事務所……………0994-65-2541  
鹿児島県 大隅地域振興局……………0994-52-2083

#### 警察・消防

肝付警察署……………0994-65-0110  
大隅肝属地区消防組合  
東部消防署……………0994-63-5499  
テレガイド(音声案内)……………0994-43-0119  
※火災・救助など災害状況、休日当番病院の案内

#### ライフライン

九州電力送配電(株)鹿屋配電事業所  
(送配電コールセンター)……………0800-777-9451  
(停電情報自動応答サービス)……………0120-426-306  
NTT……………113または0120-444-113  
(電話サービスの故障など)  
S

# わが家の防災メモ

いざという時に、慌てず行動できるように、家族で防災会議を開きましょう。

## 避難先・集合場所

※防災マップ・防災マップ拡大版で確認しましょう。

☐ 避難所、☐ 親戚・知人宅など

離ればなれになった時の集合場所

## 家族の情報

※連絡先などを確認しておきましょう。

氏 名	生年月日	血液型	携帯電話番号	学校・勤務先の電話番号

## 避難の支援をしてくれる（支援する）人の情報

※連絡先を確認しておきましょう。

氏 名	携帯電話番号	自宅・勤務先の電話番号

## 災害時に役立つ！災害用伝言版

地震など大災害発生時は、安否確認などの電話が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が発生当日から数日間続きます。

この様な状況の緩和を図るため、災害時に限定して「災害用伝言ダイヤル(171)」により安否の確認をすることができます。

### どの電話番号を入力するか決めておく

固定電話や携帯電話など、家族がそれぞれ別々の番号に伝言を残すと、なかなかメッセージにたどり着けません。

災害時スムーズにやりとりするためには、録音や再生を行う番号をどれにするか、家族であらかじめ決めておくことが大切です。

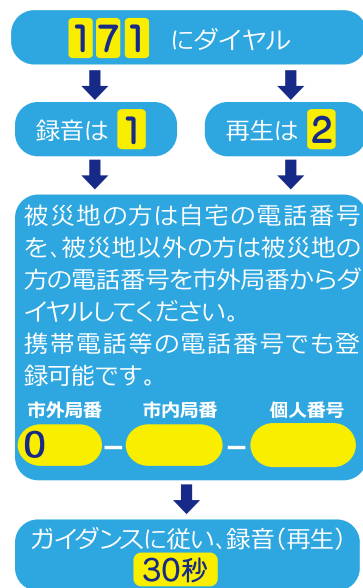
### わが家の災害用伝言番号

— —

### 30秒で伝える

録音できるのは30秒間です。

①名前「〇〇です」、②現在地「避難所の〇〇小学校にいます」、③誰かと一緒に「〇〇と避難しています」、④安否「全員無事です」、⑤次の連絡タイミング「次は〇日〇時に伝言を残します」と簡潔に伝える必要があります。



## 携帯電話会社の災害伝言版

NTTドコモ



a u



SoftBank



ワイモバイル



楽天モバイル



東串良町役場（発行：総務課）

〒893-1693 鹿児島県肝属郡東串良町川西1543

TEL:0994-63-3131 FAX:0994-63-3138

URL:https://www.higashikushira.com



開庁時間：午前8時30分～午後5時15分（月～金曜日）【祝・休日及び12月29日～1月3日を除く】